

『教えて歯医者さん』第六巻 らいおんくんのむしば

1

2

あるところに動物たちがなかよく暮らしている『どうぶつ村』と言う所がありました。そこにはわがままで、乱暴者のライオンの男の子がいました。その子の名前は、らいおん君といました。

3

らいおん君はいつもみんなを困らせてばかりいました。今日も、お友達のうさちゃんをいじめて泣かしてしまいました。『どうぶつ村』の動物達はらいおん君のいじわるに本当に困っていました。

4

おうちに帰ったらいおん君は おうちの人に内緒で 家中のお菓子をみつけて、ぜーんぶ食べてしまいました。「あーおいしい。ぼくってしあわせー。」

5

らいおん君のおなかは今にも破裂しそうにパンパンです。  
「ふうっ、おなかいっぱい。でも、みつかったら、どうしよう・・・  
まあいいや。気にしない、気にしない。」

6

らいおん君は 歯みがきも大嫌いです。お菓子を食べてそのまま眠ってしまったらいおん君のお口はあまーいにおいで一杯です。そのあまーいにおいをかいだ むしばいきんたちは大喜びでらいおん君のお口の中にぴょん、と入って行ってしまいました。

7

がぶりっ、むしゃむしゃ。むしばいきんたちは、らいおん君のお口にのこった お菓子を  
食べはじめました。らいおん君のお口は食べかすで一杯です。

8

見てください

むしばいきんは、お菓子だけじゃなくらいおん君の歯まで、いっしょに食べていたの  
です。らいおん君のおく歯には、ぽかーんと大きな穴があいてしまいました。

「歯みがきしない子 だーい好き いいお家が見つかったぞ。」

「けけけけけ…」むしばいきんたちは大喜びです。

9

ん、変な声が聞こえたぞ。らいおん君はお口の中がなんだか変なのに気がつきました  
が 次のいたずらを考えているうちに、そのことを忘れてしまいました。

毎日、歯みがきしないらいおん君のむし歯はだんだん大きくなっていきました

そして…、

10

「ぎやあー。たすけてー。おくちのなかがいたいよー」ある日、とうとう虫歯が大きくなっ  
て痛くなってしまったのです。お口の中は むしばいきんで一杯です。らいおん君は大  
声で 泣き出しました。「いたいよー、いたいよー」

11

村の動物達は、最初はらいおん君が泣き続けているのでいじわるをされなくて 喜んで  
いたのですが、なんだかだんだん、らいおん君のことがかわいそうになってきました。

12

「らいおん君を歯医者さんにつれて行ってあげなきゃ」

動物達はらいおん君をおんぶして、歯医者さんに連れて行ってあげることにしました。

「よいしょ、よいしょ」

13

さて、歯医者さんについたららいおん君は、大きな「あーん」をして、かば先生にみてもら  
いました。かば先生は、むしばいきんをお水でシュー、風でピュー と追い出して小さな

掃除機で吸い取っちゃいました。そして、むしばいきんのあけた穴には白い歯を入れてくれました。

14

むし歯を治してもらったらいおん君は、みんなに「今まで ごめんなさい。いじわるばかりしてたのに。ぼくのことを助けてくれてありがとう。これからは、いい子になるから 仲良くしてね。」と言いました。それかららいおん君は とてもいい子になりました。お友達にも優しくなり、困っているお友だちは助けてあげるようになりました。

15

どうぶつ村のみんなは、いい子になったらいおん君のことが大好きになりました。そして、大人になったらいおん君は『どうぶつ村』の王様になり村の動物達といつまでも、なかよく暮らしましたとき……

おしまい